

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	湯沢市			代表者名	市長 佐藤 一夫
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	ふるさと未来創造部まちづくり協働課	連絡先電話番号	0183-56-8386
担当者役職	主事	担当者氏名	阿部 花音	連絡先E-mail	
住所	012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	官民連携推進事業（シェアリングエコノミー推進）		
概要	シェアリングエコノミーの基礎知識を学び、活用事例を通じて地域課題の解決や財政負担の軽減、事務効率化への可能性を探る。講義を通じて、参加者が自らの業務に応用できる視点を養う。				
支援を求める分野	シェアリングエコノミー				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月30日	講演(実地)	15時30分	17時00分	
			活動時間（分）	90	
2-2. 派遣場所	会場名	湯沢市 2階25、26会議室		最寄駅	湯沢駅
	所在地	秋田県湯沢市佐竹町1番1号		最寄駅からの交通手段	車、徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中村 涼子
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	専門性の高い内容であったが、行政現場を想定した具体的な事例や平易な表現を用いて説明されており、参加者が自分事として理解しやすい構成となっていた。 また、一方的な講義にとどまらず、ワークショップの時間を取り入れることで、主体的な学びを促す研修であった。
アドバイザーへの要望事項	特段ございません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	30人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	25	0	4	1	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	現況：価値観の多様化に伴い、行政には民間企業との連携が求められている。一方で民間企業には、公共サービスの一端を担い、共創を寄与することが期待されている。 課題：適切な企業とのマッチング方法や連携の進め方が整理されておらず、官民連携が十分に機能していない。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	シェアリングエコノミーを、地域や組織の課題解決に有効な手段として位置付けること。 また、市民に対しサービス提供の効率化やシェアを通じて地域コミュニティの活性化を見込む。
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・シェアリングエコノミーに関する基礎知識 ・行政の視点から考えるシェアリングエコノミーに関する視点とKPIについて ・各分野におけるシェアリングエコノミーの連携モデル ・地域課題解決におけるプロセス ・ワークショップ

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	本支援により、シェアリングエコノミーに関する基礎知識の整理が進み、職員間において共通理解を図ることができた。 あわせて、行政の視点から施策へどのように位置付けるか、またKPIをどのように設定・評価するかについて整理することができ、今後の事業設計や既存施策の見直しに活用できる土台が整った。 さらに、各分野における連携モデルの事例を通じて、地域資源と地域課題を結び付けた具体的な活用イメージを共有することができ、分野横断的な検討が可能となった。 これらにより、職員の課題解決に向けた視点の深化と、新たな施策立案につながる基盤形成が図られた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた ・研修およびワークショップを通じて整理した、シェアリングエコノミー活用に関する視点・考え方 ・各分野における活用可能性や連携モデルに関する検討内容(アイデア・検討段階) ※これらを基に、今後の施策検討や事業化に向けた検討を継続する予定である。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	具体的な事業化や制度設計、効果測定(KPIに基づく評価)については、今後の検討課題として持ち越しとなった。 今後は、本支援で得た知見を踏まえ、庁内において継続的な検討や情報共有を行うとともに、必要に応じてフォローアップの機会を設け、実際の施策への反映や事業化に向けた検討を進めていく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートから、参加者は遊休資産や人材を活用するシェアリングエコノミーの考え方を、自身の業務に生かせる手法として理解したことがうかがえた。 今後は、実例を用いた実践的な研修やフォローアップを求める声が多く見られた。(詳細は別紙のとおり)	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する 2/20に研修後における変化やアンケートの結果を基にフォローアップしていく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアリングエコノミーの基本的な仕組みや事例を学び、理解を深める。 ・地域課題の解決や行政の財政負担・事務負担の軽減にどのように活用できるかを考える。 ・受講者自身が実務に活かせる視点を得る。 	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

